

年間行事予定

～ 四季折々の行事で、楽しいみらい♪～

4月	お花見 味覚狩り (生活介護)	8月	納涼祭	1月	新年会 ボウリング大会
5月	味覚狩り (B型) ふれ愛ひろば	9月	社会見学 (B型) 芸術鑑賞会 (生活介護)	2月	文化祭
6月	グループ外出 海遊館・ハーベストの丘 王子動物園・ひらかたパーク	10月	スポーツフェスタ さんさんGOGO	3月	社会見学
7月	芸術鑑賞会 (B型) 社会見学 (生活介護)	11月	親の会記念行事 一泊旅行		
		12月	ふれ愛クリスマス クリスマス会		



ご協力ありがとうございました。

平成24年度のリサイクル活動も
地域の方々やご家族の皆さま方
ご協力により、右記の実績を上げる
ことができました。
改めて厚くお礼申しあげます。

- 空き缶回収売り上げ
4月～3月 160,178円
- カートリッジ回収売り上げ
4月～3月 162,000円
- 書き損じはがき
279枚



紙漉き新製品。続々誕生!!



桜の花も散り、新緑が芽吹く季節がやって来ましたが、利用者スタッフ、それぞれ3名ずつ新しい顔ぶれが加わりました。今年度も皆で力を合わせて、明るく楽しい「みらい」になるように頑張りますので、よろしくお願ひします。

編集後記



(編集担当一同)

新年度を迎えて

多機能型事業所みらい
管理者 吉田 耕治

桜花爛漫の中で今年度もスタートしました。
4月1日付の人事異動では、事業所の要である主任の異動をはじめ新規職員3名の採用がありました。不思議なものでフレッシュマンが新たに加わると、事業所の雰囲気もなんとなく新鮮で華やいだものになるような気がします。

さて、みらいも11年が経過し、施設の老朽が懸案となっていました。施工業者も決定し、外壁塗装や屋上防水など大規模修繕に年度当初から取り組むこととなりました。夏頃には装い新たなみらいがご覧いただけるとおもいます。

さて、この4月から「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」略して「障害者総合支援法」に改められ、施行されました。

法の名称のとおり、今後は障害者の日常生活や社会生活の支援が、社会参加の促進や共生社会の実現につながるよう、さまざまな障害者施策の展開が進められることになるのだろうと思います。

しかしながら色々なところで、法やそれに関わる施策展開について話を聞きましたが、不思議なことにこの時点でも府の職員からでさへ詳細かつ具体的な話は聞けませんでした。その中身や進展状況などについて、依然不透明な状況が続いています。とりわけ限られた期間の中での計画相談支援の在り方、障害区分や就労支援の在り方、グループホームへの一元化等については、利用者の皆さんはもとより我々日中活動事業所にとっても影響が大きい問題であり、非常に気になるところです。

社会福祉基礎構造改革以降、さまざまな規制や改革が行われてきました。そして今またこの時期に障害者総合支援法が施行されましたが、基本理念の標榜だけでなく、その具体化に向けて制度や施策がどのように変わってゆくの、しっかりと見守っていきたいと思います。

終わりに、ご家族はもとより豊中市はじめ関係機関の皆様、そして地域の皆様の温かいご理解と一層のご支援を心よりお願い申し上げ、年度当初の挨拶とさせていただきます。



広報みらい

第28号



編集・発行

社会福祉法人
豊中親和会
多機能型事業所みらい

発行人

吉田耕治

住所

〒561-0894
豊中勝部2丁目19-3

TEL

06-6858-6697

FAX

06-6858-6698

☆しごと好き!すき!頑張るぞ~!!☆

生活介護事業

昨年度は新しい仲間が3人増え、25人で取り組みを行ってきました。年齢も10代が一人、20代が一人、あとはほとんどが30~60歳と高齢化が懸念されます。いつまでも、元気でみらいに通所できるように、生活介護事業では朝のヨガ体操、ストレッチ、作業の合間のストレッチ、午後からの取り組みにもストレッチを組み込むなど利用者さんの体力維持に努めてきました。少しずつではありますが、その成果も現れるようになってきました。

作業の中心は、がんこさんの箸置き(はしまめ)で、制作に追われる一年でしたが、毎日、はし豆の作業に取り組むことで、皆さん一様に上達され、完成度の高いはし豆ができるようになりました。

グループ分けをすることで、なかま意識がとて高まり、個人の個性を理解され、とてもいい関係ができています。

今年度は利用者さんも支援員も増え、みらいに来て、楽しいと思っただけのように支援員の意識を統一させ、利用者さんの個人のニーズに沿った支援を行えるように一丸となって頑張りたいと思っています。(榊川)

就労継続支援B型事業

昨年度2名の方が同じ法人が運営する支援センター「就労移行支援事業所ふつーる」に移籍され、またその事業所のふつーるから2名の方が新しくみらいの仲間に加わり総勢20名でスタートしました。

B型事業は、今年も紙漉きグループ、織りグループ、内職・屋外作業グループの3グループで生産活動を行います。

各グループとも元気発刺、笑顔絶やさないとっても明るい作業場になっています。MPA-スタッフもフレンドリーな人の集まりで和気あいあいと全ての人が助けて作業に取り組んでいます。

今年の目標は「ルールを守って仕事にガンバ-!」「仲よく、丁寧に」で、とても頼もしい目標が示されてB型一致団結をして仕事や行事・余暇活動を楽しく進めていきたいと考えています。MPA-が気にしているお給料(工賃)も昨年度を上回る目標設定になっているので、精力的に作業に取り組みたいと思っています。

畑、織り、紙漉き等々、MPA-全員の創意工夫で工賃アップにつなげていきたいと思ひます。(新田)

社会見学に行ってきました!!

「森永乳業神戸工場」生活介護事業 堀岡 健志

3月8日金曜日、利用者23名、スタッフ75名で神戸の森永乳業の工場へ社会見学に行ってきました!

普段身近で食べている、乳製品を中心に製造していることで、乳製品に関するビデオを見たり、新商品のヨーグルトを試食できたりと皆さん大変喜ばれ、また、色々な商品の製造工程を実際に見ることができ、新しい発見がいっぱいでした。見学が終わり、工場をバックに皆さんで記念写真を撮り、お土産をいただき大満足の日でした。



「NHK大阪放送局」就労継続支援B型事業 新田 浩史

3月15日金曜日、みらいの送迎バスを利用して、大阪の真ん中、官庁街にそびえ建つ高層ビルNHK大阪放送局にB型MPA-20名とスタッフ75名で社会見学に行ってきました。

体験コーナーではニュースキャスターやお天気お姉さん・お兄さん役で実際に台本や天気予報を見ながら加わり向かって模擬体験をして大変盛り上がりしました。

今年度最後の行事でとても楽しい社会見学になりました。



「主任になりました。」 榊川 悦子



4月1日付で主任を拝命しました。障害者支援の世界に平成10年に入職し、いつの間にか、15年が過ぎようとしています。当初は利用者さんの純粋で一生懸命な生き方に、共感し、色々なことを学ぶことが出来ました。

そして、障害者支援というとても大きな責任を毎日感じながら、失敗したり、喜んだり、泣いたりしてきた私たちを受け止めてくださるのは、利用者さんの笑顔でした。その笑顔を絶やさないように、私たち支援者は、常に、学び、意識の統一を図り、利用者さんのニーズに沿った支援を心がけています。

事業所にかかわる、全ての人たちのご協力をいただきながら、職員が働きやすい施設づくりをめざしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

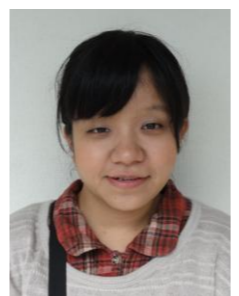
◆ 新スタッフの紹介 ◆



就労継続支援B型事業

松本 賢

はじめまして!4月1日付で、みらいでお世話になることになりました、松本 賢と申します。今まで、畑違いの会社員をしております、福祉業界は初めてでよくわからなかったのですが、以前から、何か人の為になりたいとか直接お役に立ちたいと思っ興味をもっておりまして、今回、ご縁をいただきお世話になることになりました。右も左もわからないことだらけではありますが、利用者様の為に誠意をもって支援させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



生活介護事業

松村 翼

はじめまして!4月から生活支援員としてお世話になることになりました松村 翼です。この春に専門学校を卒業しました。幼い頃から福祉の仕事につくのが夢で専門学校の時にガイドヘルパーの資格をとり知的障がい者の方と外出や余暇活動を一緒にしていく中で共に楽しみ・喜びを感じ、利用者さんから様々な事を学んでいくうちに知的障がい者の方の支援をしたいと感じました。

まだまだ未熟な自分ですが、ご指導よろしくお願いいたします。



生活介護事業

指澤 義彦

はじめまして。4月1日よりみらい生活介護事業所でお世話になります指澤 義彦と申します。

簡単ですが自己紹介させていただきますね。趣味はダイビング、スポーツ。スポーツではバスケット・バレーボールが好きです。

これから皆さんと元気に楽しく過ごしていければ良いと思います。

どうぞ、よろしくお願い致します。

